



Bluetooth無線光学マウス 取扱説明書



最初に
ご確認ください

MA-BTH22 シリーズ

- マウス本体 …………… 1台
- 単四乾電池(テスト用) …… 1本
- 取扱説明書 …………… 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社 WEB サイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- 1 マウスの接続手順
- 2 特長
- 3 警告
- 4 注意
- 5 健康に関する注意
- 6 対応機種・対応OS
- 7 マウスの準備(電池の入れ方、電源のON・OFF)
- 8 ペアリング操作 Windows 7・Vista・XP(SP2)・2000の場合
- 9 TOSHIBA Softを使用する場合
- 11 IVT BlueSoleilを使用する場合
- 13 WIDCOMM BTWを使用する場合
- 14 Mac OS Xの場合
- 16 本製品の使用方法
- 17 「故障かな……」と思ったら
- 18 保証規定

マウスの接続手順

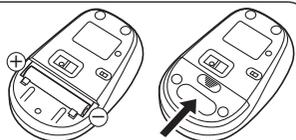
対応OSを確認します。

→P.4



マウスに付属の単
四乾電池を入れ、
電源スイッチを
ONにします。

→P.5



コンピュータの電源を入れ、
パソコンを起動します。
Bluetoothの
ペアリング操作を行います。

→P.6~



詳細は各ページをご覧ください。

1

特長

このたびはBluetooth無線光学マウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品はBluetooth規格に対応し、Bluetooth内蔵のパソコンにレシーバーなしで接続ができます。2.4GHz RF対応なので電波障害を受けにくく、半径約10mの範囲で通信が可能です。

光学センサーが動きを読み取ってくれるので、操作性が抜群です。しかもボールがないので、クリーニング等のメンテナンスが不要です。用途に合わせてカーソルスピードを1600カウント、800カウントに切替えることができます。切替えは、カウント切替えボタンを押すだけのスピード簡単切替えます。

※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

警告

■テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認ください。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせることでお試しください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- 状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

2

注意

- 本製品およびソフトウェアを使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外のご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 高い安全性や信頼性が要求される機器や算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
- 飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。
- ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。

■Bluetoothについて

- 本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発射を停止してください。

■良好な通信のために

- 他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと、通信不能場合があります。
- Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻りに途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害が発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

3

健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。

そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。

また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

対応機種・対応OS

■対応機種

●Windows搭載(DOS/V)パソコン(Bluetoothモジュールが内蔵されている機種)

●Apple Macシリーズ(Bluetoothモジュールが内蔵されている機種)

※Bluetoothモジュールを内蔵していないWindows搭載パソコンでご利用の際は別途Bluetooth USBアダプタをお求めください。

■対応OS

●Windows 7(64bit/32bit)・Vista・XP(SP2)・2000

●Mac OS X(10.3以降)

※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。ホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

※機種により対応できないものもあります。

※この文章中に表記されているその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

4

マウスの準備(電池の入れ方、電源のON・OFF)

1.マウス裏面の電池カバーを(A)方向にスライドさせて取外します。



2.付属の単四乾電池をマウスに入れます。
※正しい極性で入れてください。
⊖側から先に入れ、ばね状の金具を押しなが
ら⊕側を入れます。



3.電池カバーを、取付けます。



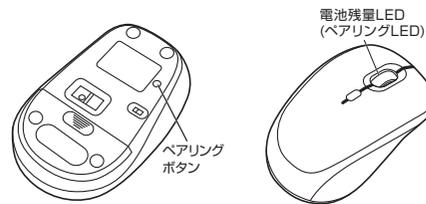
4.マウス裏面の電源スイッチをONにして、
光学センサーが光ることを確認します。
もし光学センサーが光らない場合は、電
池の向きを確認してください。
※空になった電池をマウス本体内に入れ
たままにすると液もれの原因になりま
すので、取出しておいてください。



5

ペアリング操作 Windows 7・Vista・XP(SP2)・2000の場合

1.マウス裏面の電源スイッチをONにして、ペアリングボタンを長押しすると、表面の電池残量LED(ペアリングLED)が点灯します。



2.コントロールパネルを開き、Bluetoothデバイスをダブルクリックします。



3.「追加」をクリックします。



6

ペアリング操作 Windows 7 Vista・XP(SP2)・2000の場合(続き)

4.「セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました」を選択し、「次へ」をクリックします。



5. Bluetoothデバイスの追加ウィザード画面が表示されます。



6.「Bluetooth Optical Mouse」を選択し、「次へ」をクリックします。



7.「バスキーマを使用しない」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



7

ペアリング操作 Windows 7 Vista-XP(SP2)-2000の場合(続き)

8. Windowsが「Bluetooth Optical Mouse」との接続を自動的に開始します。



9. ドライバがインストールされ、通信できる状態になりました。



一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。



8

ペアリング操作 TOSHIBA Softを使用する場合

1. マウス裏面の電源スイッチをONにして、ペアリングボタンを長押しすると、表面の電池残量LED(ペアリングLED)が点灯します。

2. タスクトレイの「Bluetooth」アイコンをダブルクリックします。



3. 設定画面が表示されます。「新しい接続」ボタンを押して、設定を開始してください。

※パソコンの機種によって表示が異なる場合があります。



4. 「エキスプレスモード」をチェックして、次の画面に進みます。



5. デバイスが自動的に検知されます。



9

ペアリング操作 TOSHIBA Softを使用する場合(続き)

6. 「Bluetooth Optical Mouse」を選択し、次のステップに進みます。



7. 接続が開始されます。



8. 画面の指示にしたがい、次のステップに進んでください。
※環境により表示される場合があります。(英語もしくは日本語で)



9. 接続が確立しました。接続名は任意で変更可能です。
※環境により表示される場合があります。(英語もしくは日本語で)



10

ペアリング操作 TOSHIBA Softを使用する場合(続き)

10. 設定情報が登録されます。



11. Bluetooth Optical Mouseとパソコンの接続が確立し、接続を示すアイコンが表示されます。



一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

ペアリング操作 IVT BlueSoleilを使用する場合

1. マウス裏面の電源スイッチをONにして、ペアリングボタンを長押しすると、表面の電池残量LED(ペアリングLED)が点灯します。

2. デスクトップにある「BlueSoleil」アイコンをダブルクリックします。メイン画面の「マイ デバイス」アイコンをダブルクリックします。



11

ペアリング操作 IVT BlueSoleilを使用する場合(続き)

3. 新しいBluetooth機器を検索開始します。



4. マウスが見つかったら、「Bluetooth Optical Mouse」を選択してください。HIDプロファイルのアイコンが黄色になります。このアイコンを右クリックして「接続」を選択すると、接続が開始されます。



5. 接続が始まると、BlueSoleilが自動的にHIDドライバのインストールを開始します。



6. 接続が完了すると、BlueSoleilのメイン画面に接続状態が表示されます。



一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

12

ペアリング操作 WIDCOMM BTWを使用する場合

1. マウス裏面の電源スイッチをONにして、ペアリングボタンを長押しすると、表面の電池残量LED(ペアリングLED)が点灯します。
2. デスクトップにある「My Bluetooth Places」アイコンをダブルクリックします。
3. 「My Bluetooth Places」ウィンドウの「Bluetoothセットアップウィザード」をクリックしてください。
4. 「目的のサービスがわかっていて、そのサービスを提供しているBluetoothデバイスを検索する」という選択肢にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



5. HIDを選択し、「次へ」をクリックします。



6. 近くにあるBluetooth HID機器の検索を開始します。



13

ペアリング操作 WIDCOMM BTWを使用する場合(続き)

7. デバイスが見つかったら、Bluetooth Optical Mouseのアイコンがウィンドウに表示されます。Bluetooth Optical Mouseのアイコンを選択し、「次へ」をクリックしてください。
8. Bluetoothセットアップウィザードがシステムに関するファイルを構成するまで数秒間お待ちください。接続が完了したら、接続の確認画面で「ここをクリック」を押し、操作を完了します。



一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

ペアリング操作 Mac OS Xの場合

1. マウス裏面の電源スイッチをONにして、ペアリングボタンを長押しすると、表面の電池残量LED(ペアリングLED)が点灯します。
2. メニューバーのBluetoothアイコンをクリックし、「Bluetoothデバイスを設定...」を選択します。



14

ペアリング操作 Mac OS Xの場合 (続き)

3. 「Bluetooth設定アシスタント」が表示されたら、「続ける」をクリックしてください。
4. 「マウス」を選択し、「続ける」をクリックします。
5. 「Bluetooth Optical Mouse」が見つかったら、「続ける」をクリックして次のステップに進みます。
6. 「マウスを登録しています」というメッセージが表示されたら、「続ける」をクリックしてください。



7. 設定完了です。これで本製品が使用可能になりました。

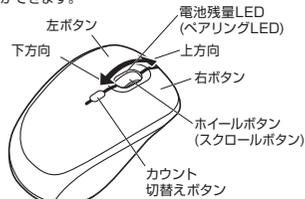
一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

15

本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールが回転し、スクロールなどの操作が行える)機能があり、簡単に画面をスクロールすることができますので、マウス操作がより楽に行えるようになります。

本製品は用途に合わせてカーソルスピードを1600カウント、800カウントに切替えることができます。



■左ボタン・右ボタン

左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きや、ポップアップメニューを表示することができます。

■ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させると上下スクロールができます。

■スクロールモード

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、ホイールボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押します。

※Apple Macシリーズではスクロールモードが使用できません。

■ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。

●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

16

本製品の使用方法(続き)

■1600/800カウント(カーソルスピード)切替

カウント切替えボタンを押すと、分解能を1600→800→1600カウントに切替えることができます。

■電池残量LED(ベアリングLED)

電源スイッチをONにした際、電池残量LED(ベアリングLED)が点滅して電源が入ったことをお知らせします。マウスを操作中にLEDが点滅を続けた際は電池が少なくなっていますので、すみやかに電池を交換してください。

「故障かな……」と思ったら

Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。

1. 電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源スイッチがOFFになっていないか確認してください。(5ページ参照)
2. 電池の残量が少なくなっているかもしれませんので、電池を交換してみてください。(5ページ参照)
3. ベアリングが切れているかもしれませんので、タストレイのブルートウスのアイコンをダブルクリックし、ベアリングの状況を確認してみてください。

Q.マウスをしばらく操作しないと、動かし始めた際に少し時間がかかる。

1. 本製品は、電池の消費を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスボタンを押すかマウスを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。

Q.マウスカーソルの動きがスムーズでない。

1. 鏡などの光を反射する素材や、ガラスなど透明な素材の上でご利用になると、マウスカーソルがスムーズに動かない場合があります。また、規則正しいパターンの上ではトラッキング性能が低下する場合があります。

Q. Internet Explorerでスムーズにスクロールできない。

1. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で、「スムーズスクロールを使用する」のチェックを外してください。

Q. Windowsのディスプレイモードをトゥルーカーラーにすると、スクロールの動きがおかしくなった。

1. ハイカラーモードを選択してください。トゥルーカーラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかるため、スピードコントロールの動きが遅くなります。

17

保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご利用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - ①保証書をご提示いただけない場合。
 - ②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ③故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - ⑤天災地災、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書貼付欄

※保証書を貼付し大切に保管してください。

18

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

■サポート情報	■ドライバのダウンロード
■よくある質問(Q&A)	■各種対応表

など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから

▼サポートコーナーへ

ご購入、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

サンワサプライ株式会社 2011.12現在

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123

東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8
TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033

札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌
TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990

仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区権町1-6-37 宝栄仙台ビル
TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633

名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町1-6-7 カジヤビル
TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033

大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル
TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315

福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20 第2博多相互ビル
TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

11/12/TTDAU